

令和4年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係 商工観光課 企業振興・商工観光担当

事務事業名	本港地区活性化事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	政策	②未来への活力を育むまちづくり	款	8	土木費
	基本目標	2-4 活気あふれるまちづくり	項	6	港湾費
	基本施策	2-4-3 商工業の振興	目	1	港湾費
	主要施策	2-4-3-2 港を中心とした賑わいづくり	事業	5	本港地区活性化事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	港町小松島を象徴するエリアである本港地区を新しい小松島の発信源とすることを目的とし、エリアに所在する公共施設などを有機的に繋ぐことにより、子育て世代をはじめ、あらゆる世代に応じた集いの場、にぎわいある空間を創出する。	事業の内容	本港地区及び中心市街地の将来像の基本的な方向性を示すための基本構想や、公共施設等の整備基本計画を策定し、これら基本構想等に基づき、にぎわい創出に向けたソフト・ハード両面からの整備を図る。
-------	--	-------	---

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標		
	指標の説明		R3	R4	R5	R6	
			目標				
			実績				
			R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	市民一人あたりのコスト	
関連事業費	事業費	0	16,911,097	23,000,000	R3	0	
	財源内訳	国県支出金		8,306,000	11,500,000	R4	468
		地方債			11,500,000	各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他				R3	36,670
		一般財源		8,605,097		R4	36,124

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由	本港地区の整備の指針となる基本構想や施設改修基本計画を策定した。整備のあり方については、基本構想等の策定のための有識者会議において、民間活力の活用が提言されており、今後、PPP/PFI手法導入可能性調査を進める中で、効率的かつ効果的な整備を図っていく。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
		現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	PPP/PFI手法導入可能性調査を行い最適な事業手法を検討する必要があるほか、サウンディング調査（対話型市場調査）を実施しながら、民間事業者の参入意欲の促進を図る取り組みを進める必要がある。
今後の方向性	民間活力を活用した施設整備により、財政負担の縮減だけでなく、市民サービスの質の向上を図る必要がある。また、施設の賑わいだけでなく、本港地区の良好な環境や価値向上を図る必要がある。